

4-2 バランスのある土地利用の推進

● 施策のめざす姿

農住工商のバランスの取れた、安全・快適・活力を備えた効率的な土地利用になっています。

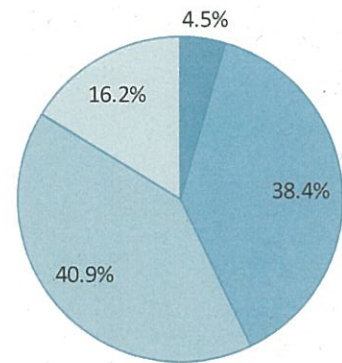
● 施策の成果指標

指標名	区分	現状値	前期目標値	説明
農住工商のバランスの取れた、安全・快適・活力を備えた土地利用がされていると思う市民の割合	成果	42.9%	↑	市民アンケートで、農住工商のバランスの取れた、安全・快適・活力を備えた土地利用がされているかについて「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合です。

● 施策をとりまく環境変化と課題

- ◎久保特定土地区画整理事業区域内に、デーノタメ遺跡や希少野生動植物のオオタカの生息が確認されているため、遺跡との共存や自然環境の保全対策が求められています。
- ◎優良農地を保全し、農地の生産性を維持する必要があります。
- ◎企業進出の誘導を図るとともに、周辺の農地や住宅地との調和を図ることが必要です。
- ◎圏央道の開通や上尾道路Ⅱ期区間*の事業化に伴い、市内への企業進出が期待されます。複合的開発ゾーンの広域的な視点に立った活用方法を検討する必要があります。
- ◎まちの活力維持のため、本市の魅力を生かし、多様なニーズにあわせた住宅供給の促進が求められています。

農住工商のバランスの取れた、安全・快適・活力を備えた土地利用がされていると思う市民の割合



- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない

(H27年度 まちづくり市民アンケート)

● 施策内の計画

北本市都市マスタープラン (H21～)

北本市産業振興ビジョン (H19～)

用語解説

上尾道路Ⅱ期区間	上尾道路の桶川市川田谷から鴻巣市箕田までの9.1kmの区間です。
開発に係る事前協議	北本市開発行為等の指導に関する要綱に基づく協議です。
沿道サービス施設	ガソリンスタンド、ドライブイン、コンビニエンスストア等の商業施設です。

● 基本事業の構成

基本事業名・めざす姿	指標名	現状値	前期目標値
4-2-1 土地区画整理事業の推進 健全かつ良好な住宅市街地が形成され、多くの市民が暮らしています。	久保特定土地区画整理事業の進捗率	34.0%	66.1%
●主な取組… 事業計画の変更、家屋移転補償、街路築造工事			
4-2-2 優良農地の保全 生産性の高い農用地面積が維持されています。	利用集積面積	23.4ha	33.0ha
●主な取組… 農地の利用集積			
4-2-3 商業・業務地等の整備 重点 商業・業務地の集積により市民の利便性が向上します。	北本駅周辺及び二ツ家地内の商業・業務集積地における店舗・事務所の開発に係る事前協議*件数	1件	—
●主な取組… 商業・業務地の集積、空き店舗対策、交通・交流拠点(駅等の可能性)の検討			
4-2-4 沿道サービス施設の誘導 沿道サービス施設*が増加し、市内での消費が拡大します。	国道17号、南大通り及び上尾道路沿道における開発に係る事前協議件数	1件	—
●主な取組… 上尾道路沿道等への商業施設の誘導			
4-2-5 住宅供給の促進 多様なニーズにあった住宅供給がされています。	住宅の建築確認申請数(戸数)	224件	250件
●主な取組… 市の魅力を生かした住宅供給策(農園付き住宅等)の検討、不動産事業者等との情報共有			

4-5 防犯・交通・消費者対策の強化

● 施策のめざす姿

事故や犯罪が起きにくい環境になっています。

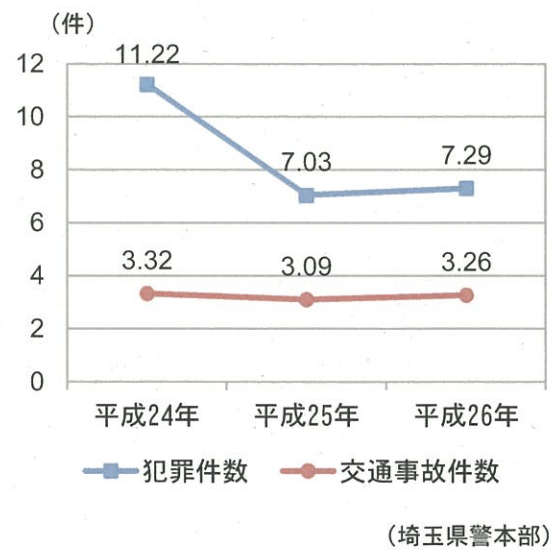
● 施策の成果指標

指標名	区分	現状値	前期目標値	説明
人口千人あたりの犯罪件数	成果	7.29 件	6 件	県警本部発表の人口千人あたりの刑法犯認知件数*です。
人口千人あたりの交通事故件数	成果	3.26 件	3 件	県警本部発表の人口千人あたりの人身交通事故件数です。

● 施策をとりまく環境変化と課題

- ◎ 犯罪件数は平成 15 年の 1,622 件をピークに減少していて、平成 26 年には 492 件となり、ピーク時の 3 分の 1 まで減少しています。
- ◎ 市民の安全・安心なまちづくりのためには、犯罪を起こさせない環境づくりが重要です。そのため、地域において、自主防犯組織を組織して、防犯に対する意識を高め、自主的な防犯活動への参加や犯罪の未然防止を図る必要があります。
- ◎ 交通事故件数は年間 1,500 件前後を推移しており、そのうち人身事故は、200 件前後とほぼ横ばいとなっています。
- ◎ 交通事故を減らすために、交通事故を防止する道路環境の整備を図るとともに、交通ルールやマナーを遵守する規範意識の醸成を図る必要があります。
- ◎ 平成 26 年の消費者安全法の改正に基づき、消費生活センターの組織運営等について、強化していく必要があります。

人口千人あたりの犯罪件数及び交通事故件数



● 基本事業の構成

基本事業名・めざす姿	指標名	現状値	前期目標値
4-5-1 防犯意識の高揚 犯罪に遭わないように自衛や未然防止の意識が高まっています。	防犯対策の平均実践項目数(全6項目)	0.82 項目	▲
	地域防犯団体を組織している割合	66.6%	70.0%
● 主な取組… 防犯共助県づくり推進事業への参加			
4-5-2 防犯環境の整備充実 防犯灯や道路照明灯が整備され、防犯対策や交通安全対策が充実しています。	防犯灯・道路照明灯の設置数	5,228 基	5,330 基
	防犯設備(防犯カメラ等)の整備件数	4 件	8 件
● 主な取組… 道路照明灯等の整備			
4-5-3 交通安全の啓発 交通事故が減少するよう、市民が意識して行動しています。	交通ルールを遵守している市民の割合	76.0%	▲
	放置自転車数	211 台	120 台
● 主な取組… 交通安全対策の推進			
4-5-4 交通安全施設の整備充実 交通安全対策として、カーブミラーや道路の区画線等の交通安全施設が十分に整備されています。	交通安全施設の整備項目数(累計)	42 項目	45 項目
● 主な取組… 交通安全施設の整備			
4-5-5 安全な消費生活の確保 消費者トラブルに遭わないようにするとともに、遭ったときには解決への支援を受けることができます。	消費生活相談件数	364 件	—
	消費者トラブルの解決方法の平均認識項目数(全7項目)	0.94 項目	▲
● 主な取組… 消費生活相談の実施			

用語解説

刑法犯認知件数 警察が犯罪について、被害の届出等により、その発生を確認した件数です。

5-1 農業・商業・工業の振興

● 施策のめざす姿

市内産業による賑わいや活力が継続的に創出されています。

● 施策の成果指標

指標名	区分	現状値	前期目標値	説明
市内総生産	社会	159,647 百万円	▲	埼玉県統計「埼玉の市町村経済計算」における北本市の第1次産業から第3次産業までの産出額の合計から経費を差し引いた額です。

● 施策をとりまく環境変化と課題

◎ 農業者の減少や高齢化に伴い、農業後継者や地域農業の担い手不足を招き、遊休農地の増加や市内の生産力が低下するおそれがあり、関連団体と連携して持続的な農業経営を支援する必要があります。

◎ 地産地消を継続するとともに、市内農産物の生産力の向上を図り、加工して販売する6次産業化の取組を進める必要があります。

◎ 商店の減少や商店主の高齢化に伴い、商店会の活動が衰退しないよう、関連団体と連携し、市内商業を活性化する必要があります。

◎ 市内での創業に対応可能な環境づくりと、市内事業者の安定的な経営を図る必要があります。

◎ 地域にある様々な資源を活用して交流人口の増加を図り、それを経済的な波及効果へ結びつける仕組みづくりが必要です。

◎ 企業立地の要望に対応できる体制を整える必要があります。



● 施策内の計画

北本市産業振興ビジョン (H19~)

北本市観光基本計画 (H25~H29)

用語解説

クラウドファンディング インターネット経由などで不特定多数の人に財源の提供や協力などを呼びかける資金調達の手法です。

● 基本事業の構成

基本事業名・めざす姿	指標名	現状値	前期目標値
5-1-1 持続可能な農業経営への支援 重点 持続的な農業経営に向けた担い手育成や、農地の利用集積が進んでいます。	認定農業者数	45人	45人
	新規就農者数(累計)	1人	2人
	1戸あたりの経営面積	1.06ha	1.08ha
● 主な取組… 遊休農地の活用、新規就農者の確保、農業後継者の育成、 農業の法人化の支援			
5-1-2 付加価値の高い農業の推進 野菜等の地産地消、6次産業化による加工品等で付加価値が高まっています。	地場物産館桜国屋の売上額	260,110千円	280,000千円
	市内の農産物を購入する市民の割合	88.3%	▲
● 主な取組… 農業ふれあいセンターの施設の充実、各種農業の振興支援			
5-1-3 地域商業の活性化 重点 商店の魅力向上や市民の市内購買率向上により、市内で買い物をする人が増えています。	日用品を市内で買っている市民の割合	94.8%	▲
	● 主な取組… 中心市街地活性化、住宅改修資金の補助、空き店舗・空きビルの再生支援		
5-1-4 商工業経営の支援 重点 創業のための支援等を活用し、事業の継続、規模の拡大がなされています。	商工会会員数	896社	—
	創業に関する相談件数	28件	35件
● 主な取組… 商工会への支援、創業支援、クラウドファンディング*の取組の推進			
5-1-5 観光の振興 祭りやイベントなど、まちの魅力を活用して交流人口が増加しています。	観光入込客数	849千人	1,000千人
	● 主な取組… 市内経済の活性化につながる仕組みの構築		
5-1-6 企業誘致の推進 重点 新たに立地を希望する企業が支援や相談を受けることができます。	企業の立地相談件数(累計)	0件	5件
	● 主な取組… 広域交通網を生かした企業・店舗誘致		

● 施策のねらい

本市の人口は平成17年をピークに減少に転じ、少子化や団塊世代の高齢化等が進み加速しています。今後も続く人口減少に対応していくため、各政策・施策に示した重点事業とそれを補完する新規事業とを総合的にひとつの政策と捉えて「リーディングプロジェクト」に位置付け、実効性を高めます。市民ニーズや社会の変化、国の地方創生方針等に柔軟に対応するため、適宜見直しを行いながら、横断的で機動性の高い政策として推進していき、新たな「北本市の価値創造」をめざします。



用語解説

リーディングプロジェクト	課題を抽出し、それを解決するために取り組む自治体の地域振興プロジェクトのことです。
インセンティブ	ある取組みに対して、行動を促して活発化させるための動機付けなどを指します。
リノベーション	既存のものを再利用したり、それを創造的に変えたりすることで、新たなものを構築することです。
アクティブシニア	自分なりのこだわりや価値観を持ち、仕事や趣味に意欲的で元気なシニア世代のことです。
コミュニティスクール	保護者や地域住民が学校運営に参画して地域の力を生かす「学校運営協議会」制度です。
テレワーク	情報通信機器を利用した、場所や時間にしばられない働き方のことです。

● プロジェクト 1

「若者の移住・定住・交流促進」プロジェクト

若い世代の希望に合った住環境を整備・提供することで「住みたくなるまち」としての魅力高めるとともに、その後の暮らしにおいて安全・安心・安らぎを感じてもらえるような取組みを進めて「住み続けたいまち」としての魅力高め、東京や県南部などへの転出の抑制を図ります。

また、将来にわたってまちの活力が維持できるよう、様々な世代、性別、世帯構成の市民が集う活動を支援し、人や地域が連携する仕組みをつくり、若い世代が地域で活躍できる場を生み出します。

◎多世帯同居や近居を希望する人への支援

- ・中古住宅や空き家の活用促進
- ・建替えや改築等に係るインセンティブ付与

◎貸家から持ち家への誘導

- ・住宅事情に合わせた用途地域の見直し
- ・中古住宅や空き家の活用促進
- ・想定誘導エリアの検討

◎新婚・子育て世帯への住宅支援

- ・住宅取得や入居に係るインセンティブ付与
- ・北本の魅力（緑、災害が少ない）を生かした住宅供給

◎様々な主体が交流することができる場の整備

- ・地域における多世代間の交流活動の活性化
- ・地域を支える若い担い手の育成

◎新たな産業や雇用機会が創出される環境の整備

- ・企業等の立地要望に柔軟に対応できる体制づくり
- ・公民連携リノベーションの検討

● プロジェクト 2

「めざせ日本一、子育て応援都市」プロジェクト

若い世代が安心して結婚・子育てができるよう、不安要素をなくすための支援をまちぐるみで一体となってい、出生率の向上につなげます。

また、これまでも注力して取り組んできた子育て環境・教育環境の整備をさらに強化し「出産・子育てにやさしいまち」として若い世代にアピールしていくとともに、子育てしながら働きたいと考えている母親が、希望する働き方を実現するための支援と就労環境の整備を進めます。

◎多様な出産ケースへの的確な支援

- ・高齢出産、里帰り出産などへの対応
- ・産科医・小児科医の充実に向けた支援

◎子育て世帯への精神的・経済的負担の軽減

- ・出産・育児相談やセミナーの充実
- ・多子世帯に対する保育料等の軽減
- ・0歳児おむつ無料化

◎質の高い保育環境の整備

- ・待機児童数ゼロ
- ・病児、病後児保育の拡充
- ・子どもの預かり時間の多様化

◎地域による子どもの預かり、見守りの推進

- ・事業所内保育の推進
- ・地域ボランティア（アクティブシニア）の活用

◎多様な教育的ニーズに応じた取組みの推進

- ・地域による学習体験の機会創出
- ・空き教室の活用（市営塾等）
- ・コミュニティスクールの検討

◎子育て中の女性への就職支援と職住近接の推進

- ・就労希望者と企業とのマッチング
- ・テレワーク環境の整備
- ・女性にやさしい地元企業のPR